

ひきこもりの社会復帰支援

家族そして当事者への支援アプローチ
5つのステップ「ひ・き・こ・も・り」

令和8年2月4日（水）

13:00～15:00

オンライン（ZOOM）開催



家族が最初の支援者になるための
5つのステップ「ひ・き・こ・も・り」

- ひ ① 評価(ひょうか):ひきこもり状況の理解
- き ② 聴(き)く:傾聴による相談しやすい居場所づくり
- こ ③ 声(こえ)かけ:適切な声かけによるポジティブな行動変化
- も ④ 求(もと)める:状況に応じて専門家に支援を求める
- り ⑤ リラックス:リラックスできる家庭での取り組み

九州大学病院で世界初のひきこもり研究外来および「ひきこもり研究ラボ」を立ち上げ、ひきこもりの多面的理解に基づく具体的な支援法の開発を進めてこられた、北海道大学大学院精神医学教室の教授である 加藤隆弘先生に、ひきこもりの具体的な支援についてお話いただきます。

加藤 隆弘(TAKAHIRO KATO)氏

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室（北大精神医学教室）教授。
ひきこもり研究ラボ@九州&北海道 代表。
2000年九州大学医学部卒。8年日本学術振興会特別研究員，11年米ジョンスホプキンス大「日米脳」研究員，13年九大レドックスナビ研究拠点特任准教授，17年同大病院精神科講師を経て21年九州大学大学院医学研究院精神病態医学准教授、2025年4月より現職。著書に『みんなのひきこもり』『逃げるが勝ちの心得』（ともに「木立の文庫」）。

所属学会・指導医・認定医など

- 精神保健指定医
- 日本精神神経学会専門医・指導医
- 日本精神神経学会（代議員）
- 日本精神分析協会／国際精神分析学会認定・精神分析家（Psychoanalyst）
- アジア精神医学会 AFPA（President Elect）
- 世界精神医学会 WPA（Secretary of Urban Mental Health Section）
- 日本精神分析学会（運営委員・医療問題委員長）
- 日本思春期青年期精神医学会（運営委員）
- 日本集団精神療法（元理事）
- 日本生物学的精神医学会（評議員）
- 日本社会精神医学会（評議員）
- 日本うつ病学会（評議員）
- 日本神経化学会（評議員）



お問合せ：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課(担当 土田)

電話(011)231-4111(内線 25-737)

お申し込み：<https://www.harp.lg.jp/bvPjaSed>

お申し込み先QRコード→